

# リザーバー留置による日常生活への支障 および精神的負担

～リザーバー留置患者 13 名のアンケート結果より～

放射線病棟

○吉田 亜希 中西 綾

## I. はじめに

リザーバーとは、体内に留置されたカテーテルの末端と接続して皮下に埋植し、経皮的穿刺によりカテーテルからの薬剤投与を可能とする器具である。放射線科（以下当科と略す）では、主に肝癌や膵癌患者を対象に局所化学療法を行う患者には動注リザーバーを、全身化学療法を行う患者には IVH リザーバーを、また両方を併用する患者には 2 個以上のリザーバーを下腹部または前胸部皮下に留置し、外来通院で治療を行っている。

リザーバーシステムによる治療は、長期の入院を余儀なくされてきた癌患者の QOL の向上に貢献していると考えられるが、リザーバーを留置したことで家庭での日常生活に支障をきたしているのではないかと疑問を感じた。そこで今回私たちは、リザーバー留置患者を対象にアンケートを実施し、リザーバー留置による日常生活への支障および精神的負担の有・無を調査したので報告する。

## II. 研究期間

2002 年 7 月から 2002 年 10 月

## III. 対象と方法

対象は、2000 年 3 月から 2002 年 6 月に動注リザーバー及び IVH リザーバーの両方またはいずれかを留置され、現在当科外来にて治療継続中の患者 18 名のうち、研究期間内に受診で来院した患者と当病棟に入院した患者 14 名（男性 8 名・女性 6 名、転移性肝癌 8 名・肝細胞癌 1 名・膵癌 5 名）であった。そのうち、動注化学療法と全身化学療法を併用している患者が 11 名おり、計 24 箇所のリザーバー（前胸部 13 箇所・下腹部 11 箇所）が留置されていた（表 1）。方法は、外来患者 11 名に対しては受診時にアンケート調査を依頼し、了承が得られた全員の患者にアンケート用紙を配布、入院患者 3 名に対しては検査や治療のない日を選び、アンケート用紙を配布した。アンケートはまず患者自身に記載してもらい、各質問に有と答えた患者には面接法にてその程度および理由を選択または記載して頂いた。またアンケートは前胸部・下腹部両方にリザーバーを留置されている患者用と前胸部または下腹部 1 箇所に留置されている患者用の 2 種類を作成した。アンケート内容は、リザーバーの留置部位別に 1)

運動制限と違和感、2) ボディーイメージに対する不満、3) 穿刺時の痛みや恐怖心と露出時の羞恥心、4) 自己抜針より構成した (表 2、3、4、5)。

#### IV. 結 果

14名の患者に依頼し、13名より回答を得た。患者がアンケート記載に要した時間は、15分から30分であった。

1) 運動制限については、有と答えた患者はなく0/13(0%)、前胸部留置、下腹部留置ともに肩関節や股関節の挙上が90度以上可能と回答した。しかし、移動・動作についてどんな制限があるかでは7項目の例(a.立位・座位がスムーズに出来ない。b.歩行がうまく出来ない。c.階段の昇降がスムーズに出来ない。d.車の運転が出来なくなった。e.以前していたスポーツが出来なくなった。f.重い荷物を持ってない。g.掃除や洗濯・布団の上げ下ろしなどが出来なくなった。)を挙げ、回答を求めた結果、重い荷物をもてないと答えた人が1名あった。その患者は70才、女性で左右の前胸部に動注リザーバーとIVHリザーバーを2箇所留置していた。違和感については、有と答えた患者は5/13(38%)、留置部位別では前胸部4/13(31%)、下腹部3/11(27%)であった。しかし、違和感は全て軽度のもので、入浴時にリザーバー部をゴシゴシ洗えない程度であった。

2) ボディーイメージに対する不満については、有と答えた患者は6/13(46%)、留置部位別では前胸部5/13(38%)、下腹部5/11(45%)であり、前胸部と下腹部の両方に留置している患者が両部位とも不満を訴える傾向にあった。性別では男性4/8名、女性2/5名であり男性に多い傾向にあった。

3) 穿刺時の痛みや恐怖心と露出時の羞恥心については、有と答えた患者は、痛み9/13(69%)恐怖心4/13(31%)、羞恥心3/13(23%)であった。留置部位別ではそれぞれ前胸部は痛み9/13(69%)、恐怖心3/13(23%)、羞恥心1/13(8%)であり、下腹部は痛み5/11(45%)、恐怖心3/11(27%)、羞恥心2/11(18%)であった。性別では、前胸部の羞恥心があると答えたのは女性1名(左右前胸部に2箇所留置)、下腹部に羞恥心があると答えたのは男性1名(左右下腹部に2箇所留置)、女性1名(右下腹部に1箇所留置)であった。

4) 薬剤の投与時間が5—24時間と長時間にわたる場合、患者の利便性を考慮して、外来で注入を開始し終了時には自宅で抜針する自己抜針を指導している。自己抜針時、抜きにくい位置にリザーバーが入っていると感ずることがあると答えた人はなかった。現在自己抜針を行っている患者は3名と少数ではあるが、その3名のリザーバー留置部位はすべて異なっていた(表6)。

#### V. 考 察

今回の検討症例数は少ないが、リザーバー留置に伴う患者の身体的ならびに精神的障害の有・無と程度を明らかにできた。

1) 運動制限と違和感の有・無については、留置部位にかかわらず肩関節や股関節の関節可動域に制限はなかった。移動方法や家事などのADLに関しても、前胸部2箇所のリザーバーを埋め込んでいる1名の患者のみが重い荷物を持ってないと制限を感じていたが、その他には制限を感じている患者はいなかった。リザーバー留置部の違和感については、常に自覚している患者はなく、動作時に時々違和感があると回答した人は13名中4名であり、いずれも入浴時にリザーバー部をゴシゴシ洗えないとするものであった。なお、違和感についても留置部位による差はみられなかった。このことよりリザーバーを留置したことによる日常生活への支障は、仮説に反し、ほとんど無いということが明らかになった。また臨床の場では、リザーバー留置を予定している患者から日常生活への支障、運動制限についての質問、不安等を聞くことがある。今回の結果はリザーバー留置前の患者に対しても意義があり、また患者の不安を軽減することで、治療計画を円滑に進めることにつながると考えられる。

2) ボデーイメージに対する不満の有・無について、外見上の変化が気になるのは女性が多いと思われたが、男性にも不満を訴える頻度は高いことが伺われ、男性にも女性と同様にボデーイメージに対する配慮が必要であると考えられる。

3) 穿刺時の痛みについては、前胸部と下腹部の留置部を比較しても差はなかった。恐怖心についても、前胸部留置の場合、穿刺時に穿刺操作が視野に入るために恐怖心があるのではないかと推測されたが、アンケート結果では患者の持つ恐怖心は穿刺時の痛みによるものがほとんどであり、留置部位での差はなかった。また、羞恥心に関しては、下腹部のリザーバーの場合、投薬時に下腹部を露出するため、羞恥心を感じる患者が多いと思われたが、2名と少数しかおらず、男女差もみられなかった。

4) 自己抜針については、留置部位の異なる3名全員が抜針に支障を感じていなかった。このことより留置部位の違いによる自己抜針操作への負担は少ないと推測される。

以上より、リザーバー留置に伴う患者の身体的・精神的負担は少ないと考えられるが、当科では病名ならびに病状を患者に告知することを原則としているため、全患者がリザーバーの意義と必要性を十分に認識しているということも、負担感の低減に大きく影響していると考えられる。

## VI. 結 論

- ① リザーバーを留置したことで留置部の違和感は残ることがあるが、日常生活に対する運動制限はほとんどない。
- ② 前胸部と下腹部の比較では日常生活における支障、精神的負担に差はない。
- ③ リザーバーの留置による日常生活の支障はほとんどなく、患者のQOLの向上に有効な治療のひとつである。

## 参考文献

- 1) 林美子：動脈注入化学療法を受ける患者の看護。臨床看護，25(2)：234-238，1999.
- 2) 小林祐子，他：肝がんの動注化学療法を受ける患者と看護の役割—アセスメントと患者ケアのポイント。月刊ナーシング，14(12)：30-35，1994.
- 3) 宮坂和男，他：放射線科エキスパートナーシング。南江堂，1996.
- 4) 藤井たけ，他：肝動脈注入化学療法を受けている患者のQOLに影響を及ぼす因子，成人看護Ⅱ，(30)：3-5

表1 研究対象

	年齢	性別	疾患	リザーバー留置部位
①H.H	73	男	膵臓癌	前胸部・下腹部
②O.S	68	男	膵臓癌	前胸部・下腹部
③O.K	74	男	膵臓癌	前胸部・下腹部
④O.N	67	男	膵臓癌	前胸部・下腹部
⑤M.T	52	男	膵臓癌	前胸部・下腹部
⑥K.K	71	男	転移性肝癌	前胸部・下腹部
⑦N.M	55	男	転移性肝癌	前胸部・下腹部
⑧U.K	63	男	肝細胞癌	前胸部
⑨H.I	64	女	膵臓癌	前胸部・下腹部
⑩L.T	68	女	膵臓癌	前胸部・下腹部
⑪O.M	42	女	転移性肝癌	前胸部・下腹部
⑫S.M	50	女	転移性肝癌	前胸部
⑬T.H	73	女	転移性肝癌	前胸部・下腹部

表2 アンケート No.1

(前胸部・下腹部両方、2カ所以上に留置している患者様用)

患者様へ  
今回、私たちはリザーバーを留置している患者様を対象に、リザーバーを埋め込んだ方々の現在の生活状況を知るためにアンケート調査をすることになりました。御多忙中とは存じますが、アンケートに御協力お願いします。  
あなたの名前( ) 年齢( )  
以下、当てはまるものに○印を付けて下さい。

1. 現在どの部分にリザーバーが埋め込まれていますか？(リザーバーが複数ある方は、あるだけチェックして下さい)  
①右前胸部 ②左前胸部 ③右下腹部 ④左下腹部
2. リザーバーを留置していることによって、現在、運動制限がありますか？  
①ある ②時々ある ③全くない

・①②を選択された方にお尋ねします。  
日常生活を過ごすにあたり、運動制限はどの程度ありますか？当てはまる項目を選んで下さい。複数回答可能です。

A. 肩関節の挙上について  
a. 90°以上挙げられる(動作例：洗髪ができる。電車のつり革をもてる。)  
b. 90°も挙げられない(動作例：洗面が出来ない。)

B. 股関節の挙上について  
a. 90°以上挙げられる(動作例：正座が出来る。しゃがめる。)  
b. 90°も挙げられない(動作例：椅子にスムーズに座れない。しゃがめない。)

C. 移動・動作について  
a. 立位・座位がスムーズに出来ない。  
b. 歩行がうまく出来ない。  
c. 階段の昇降がスムーズに出来ない。  
d. 車の運転が出来なくなった。  
e. 以前していたスポーツが出来なくなった。

表3 アンケート No.2

g. 掃除や洗濯・ふとんの上げ下ろしなどの家事が出来なくなった。  
 h. 入浴時、リザーバー部の皮膚をゴシゴシ洗えない。  
 ( )

D. 上記の項目以外に、運動が制限されることはありますか？あれば記入して下さい。  
 ( )

E. 現在使用されているトイレ様式は何ですか？  
 ①和式 ②洋式

3. 現在、前胸部のリザーバー留置部に違和感がありますか？  
 ①全くない ②動作時に時々ある ③動作時に常にある ④常にある

4. 過去に、前胸部のリザーバー留置部に違和感がありましたか？  
 ①全くない ②動作時に時々ある ③動作時に常にある ④常にある  
 ②～④と答えられた方にお尋ねします。違和感はいつまでありましたか？  
 ①抜糸まで ②一ヶ月 ③3ヶ月 ④6ヶ月 ⑤1年以上

5. 現在、下腹部のリザーバー留置部に違和感がありますか？  
 ①全くない ②動作時に時々ある ③動作時に常にある ④常にある

6. 過去に、下腹部のリザーバー留置部に違和感がありましたか？  
 ①全くない ②動作時に時々ある ③動作時に常にある ④常にある  
 ②～④と答えられた方にお尋ねします。違和感はいつまでありましたか？  
 ①抜糸まで ②一ヶ月 ③3ヶ月 ④6ヶ月 ⑤1年以上

7. 前胸部にリザーバーを留置したことによって、外見上の変化（見た目）が気になりますか？  
 ①気になる ②全く気にならない

8. 下腹部にリザーバーを留置したことによって、外見上の変化（見た目）が気になりますか？  
 ①気になる ②全く気にならない

表5 アンケート No.4

・現在、リザーバーの自己抜針をしている患者様にお尋ねします。

18. 薬液注入ボトルを持って帰宅した際または帰宅途中で不便を感じたことがありますか？  
 ①ある ②ない  
 ・ある方はどういったことで不便を感じることがありましたか？具体的にお答え下さい。  
 ( )

19. 薬液注入を済ませ、自己抜針をするまでに自宅でのように過ごされていますか？  
 ①じっとして寝ている ②なるべく安静にしている  
 ③普段と変わらず動いている

20. 自己抜針をしているリザーバーはどこに入っていますか？  
 ①右前胸部 ②左前胸部 ③右下腹部 ④左下腹部

21. 自己抜針を行った後、抜きにくい位置にリザーバーが入っていると感じたことはありませんか？  
 ①ある ②ない

ご多忙の中アンケートにお答え頂き有り難うございました。  
 今回取らせて頂いたアンケート結果を参考にして、今後よりよい看護を提供して行きたいと思っております。

放射線科 中西、吉田

表4 アンケート No.3

9. 前胸部のリザーバー部位が隠れる様な服を選んで着ることがありますか？  
 ①ある ②ない

10. 下腹部のリザーバー部位が見えるような服（水着など）を着ることが出来ますか？  
 ①出来る ②出来ない

11. 前胸部のリザーバー部に針を刺される時、痛みがありますか？  
 ①ある ②ない

12. 下腹部のリザーバー部に針を刺される時、痛みがありますか？  
 ①ある ②ない

13. 前胸部と下腹部の両方に痛みを感じる方にお尋ねします。2カ所を比較するとどちらの方が痛みを強く感じますか？  
 ①前胸部 ②下腹部

14. 前胸部のリザーバー部に針を刺される時、恐怖心がありますか？  
 ①ある ②ない  
 ・あると答えられた方にお尋ねします。なぜ、恐怖心を感じますか？  
 ①痛いから ②針を刺すところが見えるから ③その他 ( )

15. 下腹部のリザーバー部に針を刺される時、恐怖心がありますか？  
 ①ある ②ない  
 ・あると答えられた方にお尋ねします。なぜ、恐怖心を感じますか？  
 ①痛いから ②針を刺すところが見えるから ③その他 ( )

16. 診察時や穿刺時に前胸部のリザーバー周囲の肌を露出する時、羞恥心を感じるがありますか？  
 ①ある ②ない

17. 診察時や穿刺時に下腹部のリザーバー周囲の肌を露出する時、羞恥心を感じるがありますか？  
 ①ある ②ない

表6 アンケート結果

	n=13	前胸部 n=13	下腹部 n=11
運動制限 有	0人(0%)	0個(0%)	0個(0%)
違和感 有	4人(31%)	4個(31%)	3個(27%)
ボディイメージに対する不満 有	6人(46%)	5個(38%)	5個(45%)
穿刺時の痛み 有	9人(69%)	9個(69%)	3個(27%)
恐怖心有	4人(31%)	3個(23%)	3個(27%)
羞恥心有	3人(23%)	2個(15%)	1個(9%)